花が語り、音が響き、
哲学が問いかける——。



公益財団法人　池坊文化・芸術財団　創設1周年記念

トークイベント

華と音、そして哲学

―文化をめぐる対話―

華道家・写真家
池坊専宗
Senshu Ikenobo

×

作曲家・舞台音楽家
宮川彬良
Akira Miyagawa



×

哲学者・青山学院大学教授
小川仁志
Hitoshi Ogawa



2026年
11月17日（火）
13時～16時40分（12：30開場）

公益財団法人 池坊文化・芸術財団
こころホール　洗心館 地下1階（旧：池坊短期大学）

主催：公益財団法人　池坊文化・芸術財団

協力：京都市教育委員会／教育出版株式会社

華道 × 音楽 × 哲学

異なる世界で“表現”を追究する三人が、
文化の本質をめぐって語り合います。

対話を通して、一輪の花が加わり、ひとつの音楽が生まれる――。

伝統を受け継ぐとは何か。
新しいものを生み出すとは、どういうことなのか。

そこに生まれるのは、まだ誰も知らない新しい表現かもしれません。
華と音、そして哲学が織りなす、特別なひとときをお届けします。

プログラム

第1部
13時10分―14時40分（90分）
華道 × 哲学
池坊専宗、小川仁志

第2部
15時00分―16時30分（90分）
音楽 × 哲学
宮川彬良、小川仁志



池坊専宗
Senshu Ikenobo
（華道家・写真家）

慶應大学理工学部入学後、東京大学法学部入学。東京大学卒業時に成績優秀として「卓越」を受賞。名もなき花を生け、日常の一瞬間を写真として描く。祈りの展示「MOVING」、日本橋三越本店にて写真展「一粒の砂 記憶 ひかり」を行う。大阪・関西万博のパビリオン「null²」の茶室に184日間の移ろう花を生ける。池坊青年部代表、京都文化芸術都市創生審議会・政策部会委員、東京国立博物館アンバサダー。京都の66の伝統工芸と職人を描いた写真集『よい使い手 よい作り手』刊行。講座や講演、文筆やラジオ、献花、インスタレーションなど様々なかたちで、日常の美しさと交わることの価値を伝え続けている。信条は「光を感じ、草木の命をまなざすこと」。



宮川彬良
Akira Miyagawa
（作曲家・舞台音楽家）

劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽で作曲家デビュー。「身毒丸」「ハムレット」「天保十二年のシェイクスピア」で読売演劇大賞・優秀スタッフ賞を受賞。また、ショーのために作曲した「マツケンサンバII」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。
演奏活動にも精力的に取り組み『コンサートはショーである』を信条に、さまざまな企画のコンサートを全国で行っている。
NHK Eテレ「クインテット」で音楽担当ならびに出演。アニメ「星のカービィ」「宇宙戦艦ヤマト（リメイクシリーズ）」Netflixシリーズ「グリム組曲」連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽など、その活躍の場は多岐にわたる。



小川仁志
Hitoshi Ogawa
（哲学者・青山学院大学教授）

京都大学法学部卒、名古屋市立大学大学院博士後期課程修了。博士。商社マン、フリーター、公務員などを経て、徳山高専准教授、米プリンストン大学客員研究員、山口大学教授を歴任。全国で「哲学カフェ」を開催し、市民のための哲学を実践している。Eテレ「世界の哲学者に人生相談」「ロッチと子羊」では指南役を務めた。著書は100冊以上に及び、主な著書に『教科書の名作で哲学する』『哲学すごろく』『ジブリアニメで哲学する』『中高生のための人生論ノート』などがある。YouTube「小川仁志の哲学チャンネル」でも発信中。

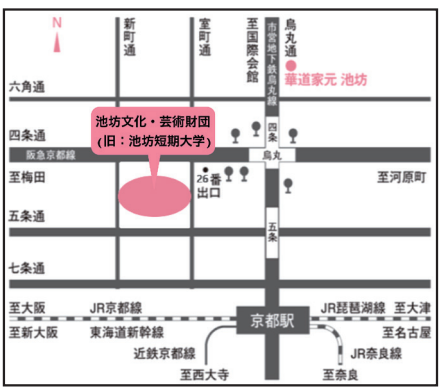
〈定員〉
先着150名様

〈入場料〉
1,000円（税込）

〈申込方法〉
受付期間 2026年10月26日（月）―11月15日（日）
下記QRコードまたはURLよりお申込みください。

※QRコードを読み込んでいただくとイベントのお申込みサイトに移動します
※Peatixへの登録が必要です
https://peatix.com/event/5230979

〈会場アクセス〉



京都市営地下鉄「四条駅」
阪急京都線「烏丸駅」
26番出口より徒歩約2分

問い合わせ先　公益財団法人　池坊文化・芸術財団
075-351-8681　受付時間10―17時（土・日・祝日を除く）
info@ikenobo-bungei.or.jp